



2024.2

第54期 報告書

2023.3.1 » 2024.2.29

LUCKY

北雄ラッキー株式会社

東証スタンダード市場 / 札証 (証券コード : 2747)

TOP MESSAGE・トップメッセージ

株主の皆様へ ごあいさつ

北雄ラッキー株式会社
代表取締役社長

桐生 宇優



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第54期（2023年3月1日～2024年2月29日）は、食品スーパーの業績に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に加え、入国規制が大幅に緩和されインバウンド需要は順調に回復し、社会経済活動は緩やかに回復傾向にあります。しかし、物価高の一因となったウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、堅調な米国経済がもたらす大幅な円安の進行など、日本経済を取り巻く環境は楽観視できない状況です。

そのような経営環境下、私どもがこだわり続ける点は「よりおいしくより豊かに」「健康と安心」であります。これは「テイスティラッキー」「ナチュラルラッキー」として当社の商品政策に掲げているものです。これを全社であらためて共有し、将来当社がどのような姿となっているかを確認するため、第54期から3年に渡る中期経営計画を策定し、第55期は2年目となります。中期経営3か年計画の最終目標に向けて、今期も着実に遂行していきます。

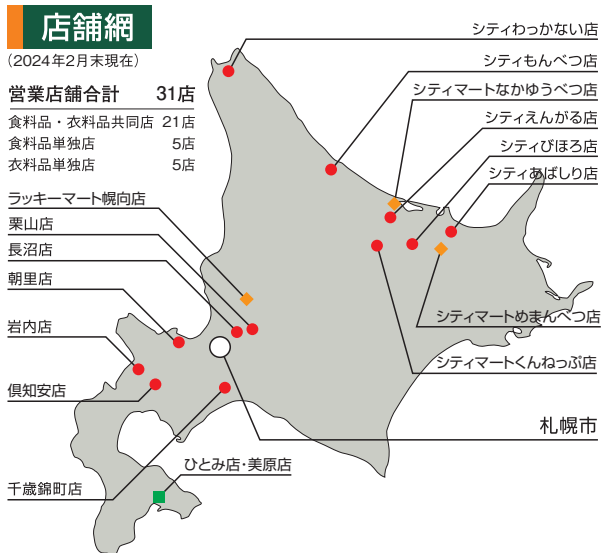
現在、食品スーパーは昨今のコストプッシュ型インフレによる、消費者の節約志向のさらなる高まりと原材

料、物流費をはじめとした各種コストの高騰や人手不足に対応していかなければなりません。私どもは日本一質の高いスーパーマーケットを目指しており、お客様の大きな信頼を獲得するために、ラッキーの「おいしさ」というこだわりを深耕してまいります。

第54期に新設したフードコーディネーター部とラッキー生鮮・デリカセンターによる新商品企画・情報発信の強化、セルフレジや電子棚札導入をはじめとしたデジタル化と省力化により一層取り組みます。また、環境変化に対応し持続可能な取り組みを進め、企業の成長と社会貢献の両立を目指すために、サステナビリティ委員会を設立しました。そして、人材育成として若手の登用を積極的に行い、教育や視察の機会を増やしていきます。第55期は当社として7年ぶりとなる新規出店を予定しております。地域にあった品揃えを重視し、地域のお客様の豊かな暮らしを提供するライフラインとして欠かせない存在を目指します。

より多くのお客様に店舗まで足を運んでいただき、当社を評価いただけるよう、従業員、役職者一同、最大限の努力をしております。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール・PROFILE



札幌市近郊店舗分布



- [食料品・衣料品共同店]
- ◆ [食料品単独店]
- [衣料品単独店]
- 本部 〒006-0851 札幌市手稲区星置1条2丁1番1号 ☎011-558-7000
- ラッキー生鮮・デリカセンター 北海道小樽市銭函3丁目193-1 ☎0134-62-1717
- シティデリカセンター 北海道網走郡美幌町字青山北53-3 ☎0152-75-2060
- 低温センター 札幌市中央区北12条西19丁目36-168 ☎011-643-4511
- 物流センター 北海道石狩市新港西3丁目700 ☎0133-75-8877

1971年4月、食品の小売および卸売を目的として株式会社オレンジチェーンを設立。1974年5月、商号を株式会社山の手ストアと改めチェーン展開を開始し、更なる店舗規模の拡大と集客部門の充実強化を図るため、1982年5月に札幌市内を中心に衣料品のチェーン展開を行っていた株式会社まるせんと合併。商号も現在の北雄ラッキー株式会社に変更しました。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩市、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市・栗山町・長沼町と規模を拡大し、更に道東地区のドミナント化を図るため網走市、紋別市へ進出、2005年10月には道北の稚内市、2008年9月には後志地方の岩内町、2011年11月には道南地区の函館市へと営業エリアを広げ、2024年2月末現在、全道各地に31店舗を展開しております。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客様に感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一步先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けてまいります。



HIGHLIGHT・事業ハイライト

「ナチュラルラッキー& テイスティラッキー」 ラッキーらしさの商品コンセプト

お客様にとって最大の関心事である「食」の「健康と安心」の面において、当社が自信を持っておすすめしているのが「ナチュラルラッキー」の商品コンセプトです。お客様の健康な毎日のお役に立てるよう、有機野菜、特別栽培品、無添加商品などを展開しております。また、もうひとつの商品コンセプトである「テイスティラッキー」は、「おいしさ」と「品質」で、家族が揃うお祝いの日やお誕生日などの食卓で、家族みんなに満足していただける商品です。

健康で安心な毎日の食生活のために。 NATURAL LUCKY ナチュラルラッキー



ホテルブレッド



興部ハム
 ベーコン・ローズハム・
 あらびきウインナー

おいしいものをどどんと食卓に。 TASTY LUCKY テイスティラッキー



こだわり玉子太巻



ラッキー味付
 ロースジンギスカン
 ラムモモ



中札内
 そのまま枝豆

「お客様の食生活をゆたかに することが私たちの願いです。」

当社の商品政策である「6MD商品」の目的は、お客様の食生活をゆたかに、安心・安全な商品を提供することにあります。6MDの商品政策においては、商品が持っている様々な要素を6つの商品コンセプトを基に分類し、商品特性の見極めによる、顧客ニーズや価値観に適合する商品提供により、顧客満足度の向上を図っております。

私たちは、お客様が求めている商品やサービス、そして価値を提供することが、お客様の食生活をゆたかにすることに結びつくと考えております。

食生活をゆたかに、あんしんに。

あんしんを食卓に

おいしいを食卓に

手間なくおいしい

大好き！ふるさとの味

選べる！お得です！

家計を高級

上のマークが目印です。お買物にお役立てください。

LUCKY CITY

中期経営3か年計画の策定



新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢など激変する経営環境下、将来の当社のあるべき姿を見える化するため、2023年度から3年間の中期経営計画を策定いたしました。2022年3月から半年にわたり幹部社員が外部研修を受講して、経営計画について理解を深めた上で議論を重ね完成に至ったものです。お客様にご支持いただくことを通じ、企業の永続のためどのように収益力を確保していくかにフォーカスしたものとなっています。第55期は中期経営計画2年目となります。中期経営3か年計画の最終目標に向けて、今期も着実に遂行していきます。



お弁当・惣菜大賞2024入選



全国スーパーマーケット協会主催、お弁当・惣菜大賞2024にてフードコーディネート部が開発した「きつねのたぬき」、「美瑛産とうきびのじゃがバターボール」が入選しました。

「きつねのたぬき」は、惣菜部門のロングセラー商品「やわらかいなり寿司」の製造中に破けてしまったいなり皮を使用し、原材料の廃棄削減をした商品です。「美瑛産とうきびのじゃがバターボール」は、北海道産の食材を使用することにこだわり、倶知安産の男爵いもを全て潰さずにじゃがいもの形を残し、美瑛産のコーンで包み込みました。これからもこだわりのおいしさをお届けします。



TOPICS • 改装店舗のご案内

■「シティわっかない店、シティもんべつ店の改装」

2023年4月12日シティわっかない店、同年10月14日シティもんべつ店がリニューアルオープンしました。「買いやすい店舗」に生まれ変わることを目標に、ファミリー層にニーズが高まっている冷凍食品、洋日配品の拡充をしました。売り場も見やすくし、冷凍リーチンケースに切り替えています。また、レイアウト変更による作業効率の向上を図り、環境問題対策として冷凍・冷蔵ケースの冷媒ガス切り替えをしました。

両店舗ともベーカリーコーナーを惣菜コーナーと隣接し、即食商品をトータル提案することでより選びやすい買いやすい売り場にしました。また、通路幅を広くし、お客様がゆっくり買い物をしていただけるようにしました。

オープン当日はシティわっかない店が3,700人、シティもんべつ店が4,200人のお客様の来店でにぎわい、その後もファミリー層を中心に継続的な来店をいただいております。

当社は翌事業年度において、空知郡南幌町に新規出店を予定しております。地域に合った品揃えの充実、お求めやすい価格帯設定に取り組みます。また、少人数運営やセルフレジの導入による収益率の高い店舗の実現を目指します。



リニューアルオープン日に多くのお客様でにぎわう店内



ロングセラー「やわらかいなり」をはじめとしたこだわりの弁当・寿司各種



リーチン冷凍庫を導入し、より見やすく選びやすく



近年需要が伸びているグミコーナーを拡大し、充実強化しました

北雄ラッキーの環境方針・TOPICS

北雄ラッキーは「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地球温暖化防止(二酸化炭素の削減)をはじめとする環境問題に積極的に取り組み、従業員一人ひとりが身近で出来ることから、着実に実践し積み重ねることで、地域のスーパーマーケットとして、地球や人にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

【省エネとフロンガスをより安全なものを使用し地球温暖化防止に取り組んでいます。】



シテイもんべつ店では、10月に行った店舗リニューアル工事を機に、店内のオープンケースや冷凍冷蔵庫を運転する冷凍設備の更新を実施いたしました。

この新しい冷凍設備は、省エネ性能の向上により従来よりも18.1%のエネルギーの削減となり、地球温暖化やオゾン層破壊に悪影響を及ぼすフロンガスについても、地球温暖化係数が23.2%低いR-448というガスを採用しています。省エネによるエネルギーの削減、そして地球温暖化係数の低減という二つの効果で地球温暖化防止への新しい取り組みとしております。

【お客様と共に続ける環境活動「食品ロスの削減」】



北雄ラッキーでは、食品ロス削減の一環として、農林水産省や環境省、消費者庁の推奨する10月30日食品ロス削減の日に参加する形で、店内へ食品ロス削減ポスターを掲示して、お客様にも、食品ロスの削減を呼びかけました。

日本では年間約643万トンの食品ロスが発生しており、そのうち事業者から約325万トン、家庭から約291万トン発生しております。家庭も事業者も双方で取り組みが必要となっております。

当期の概況

●営業の状況と次期の見通し

日本経済に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより、インバウンド需要の回復や個人消費が持ち直し、景気は緩やかな回復の傾向が見られました。一方、急激な円安進行や海外経済の減速懸念、ウクライナや中東の不安定な情勢、資源及び資材価格の高止まりが続いており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

そのような経営環境下、当事業年度は、以下の重点項目について取り組みを行いました。

- ① 競合他社との優位性確保のための商品力強化(6MDの深耕)
- ② マーケティング力の強化によるストア・ロイヤリティの向上
- ③ ファミリー顧客層の拡大のための商品投下
- ④ ラッキー生鮮・デリカセンターの本格稼働による経費削減効果の顕在化
- ⑤ 適切な設備投資を行うことにより業務効率を改善しロコスト経営を実現
- ⑥ 財務体質の強化

売上高につきましては、379億19百万円で前事業年度比100.5%、2億4百万円の増加となりました。

経費面におきましては、電気料金値上げにより水道光熱費は前事業年度比+12百万円、101.2%と増加となりました。雑給は最低賃金引上げによるコスト増がありました。合理化効果により34百万円の減少となりました。総体として販売費及び一般管理費は前事業年度比99.5%となり55百万円減少しております。

この結果、経常利益は5億35百万円と前事業年度比128.0%、1億16百万円増となりました。

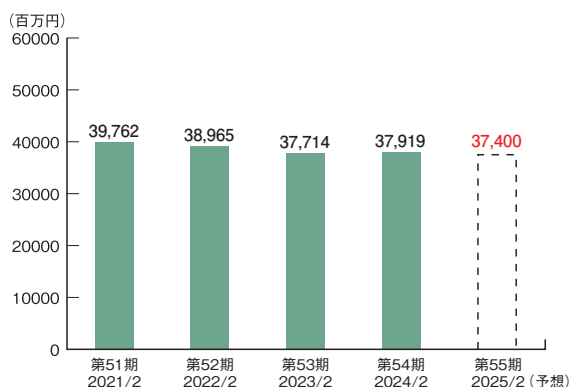
翌事業年度予定しております施策は以下のとおりとなります。

- ① 設備投資につきましては、南幌店を新規出店いたします。生鮮・デリカセンターの商品供給と売上高人件費率を抑えた新たなオペレーションにより、効率性の高い小型店フォーマットです。また、2024年3月に岩内店を改装いたしました。そのほか商機があれば柔軟に設備投資計画を変更対応します。
- ② 2024年3月より「dポイント」の加盟店となりました。両カードをご提示いただくことで、「dポイント」と「ラッキーコジカポイント」がダブルでたまることにより、お客様の毎日がお得で、楽しく、便利な生活になるよう努めてまいります。
- ③ ラッキー商品政策の根幹である6MDを深掘りし、お客様のニーズに合致した商品の開発、商品選定基準の設定等により他社との差別化を図ります。
- ④ 当社独自の商品開発を通じお客様にダイレクトに訴求していくことを目指します。フードコーディネーター部を中心に商品開発を進めてまいります。
- ⑤ 人の資本充実のための施策として、中期経営計画を踏まえ、組織構成の見直しを作成し、社内でのどのように必要な人員を育成していくか顕在化していきます。
- ⑥ 環境変化に対応し持続可能な取り組みを進めることにより、企業の成長と社会貢献の両立を目指すため、サステナビリティ委員会を設立しました。

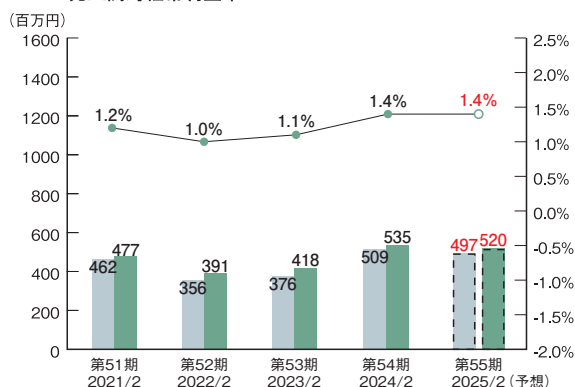
当社の競争力の源泉である「よりおいしくより豊かに」「健康と安全」にこだわった商品提供を続けてまいります。

これらの施策により、次期2025年2月期は、売上高374億円(当事業年度比98.6%)、経常利益5億20百万円(同97.1%)、当期純利益3億60百万円(同117.4%)を見込んでおります。

売上高の推移と予想 (第51期～第54期実績と第55期予想)



営業利益の推移と予想 (第51期～第54期実績と第55期予想)



●貸借対照表

単位:千円

科目	前期	当期
	2023年2月28日 現在	2024年2月29日 現在
〈資産の部〉		
流動資産	4,974,529	4,976,926
固定資産	12,721,258	12,939,687
有形固定資産	10,446,086	10,753,094
無形固定資産	56,995	52,890
投資その他の資産	2,218,175	2,133,702
繰延資産	—	—
資産合計	17,695,787	17,916,614

単位:千円

科目	前期	当期
	2023年2月28日 現在	2024年2月29日 現在
〈負債の部〉		
流動負債	9,294,377	8,902,456
固定負債	3,072,509	3,398,620
負債合計	12,366,887	12,301,077
〈純資産の部〉		
株主資本	5,291,220	5,534,614
評価・換算差額等	37,679	80,922
純資産合計	5,328,899	5,615,537
負債・純資産合計	17,695,787	17,916,614

●損益計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	2022年3月1日～ 2023年2月28日	2023年3月1日～ 2024年2月29日
売上高	37,714,879	37,919,504
売上原価	27,087,127	27,203,261
売上総利益	10,627,751	10,716,243
営業収入	262,128	251,358
営業総利益	10,889,879	10,967,601
販売費及び一般管理費	10,513,703	10,457,767
営業利益	376,176	509,834
営業外収益	68,626	48,816
営業外費用	26,514	23,368
経常利益	418,289	535,281
特別損失	216,109	98,792
税引前当期純利益	202,179	436,489
法人税、住民税及び事業税	80,667	120,379
法人税等調整額	△6,876	9,519
当期純利益	128,388	306,590

●キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	当期
	2023年3月1日～2024年2月29日
営業活動によるキャッシュ・フロー	581,518
投資活動によるキャッシュ・フロー	720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△659,622
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△77,383
現金及び現金同等物の期首残高	645,209
現金及び現金同等物の期末残高	567,826

売上・設備の状況

●商品別売上高の推移と直近構成比の状況

○売上高の概要

売上高は前期比2億4百万円増加となりました。相場高の影響を受けた、生鮮食料品が前期比3億97百万円、衣料品は前期比1億21百万円減少しました。若年層の顧客獲得と伸長カテゴリーの拡充を目的に、冷凍食品の品揃えを中心として強化した一般食料品が前期比7億71百万円増加しました。

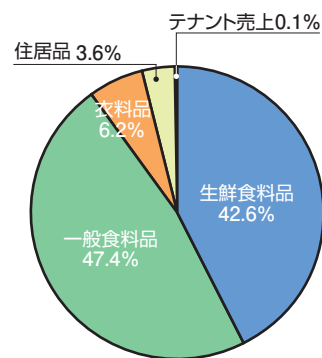
商品別売上高

単位：百万円

	第52期			第53期			第54期			第55期(予想)		
	2022/2	2023/2	前期比(%)	2024/2	前期比(%)	2025/2	前期比(%)	2022/2	2023/2	前期比(%)	2024/2	前期比(%)
スーパーマーケット事業部門	38,965	37,714	96.8	37,919	100.5	37,400	98.6					
生鮮食料品	16,692	16,540	99.1	16,143	97.6	16,480	102.1					
一般食料品	17,575	17,215	97.9	17,986	104.5	17,310	96.2					
衣料品	2,653	2,475	93.3	2,354	95.1	2,200	93.5					
住居品	1,444	1,430	99.0	1,381	96.6	1,350	97.8					
テナント売上	599	52	8.8	54	102.5	50	92.6					
合計	38,965	37,714	96.8	37,919	100.5	37,400	98.6					

※2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2023/2以降の数値は当該基準を適用した後の数値となっております。

第54期(2024/2)売上構成比



●設備投資等の概要

設備投資につきましては、当事業年度における新設店舗は無く、2023年4月に「シティわっかない店」、同年10月に「シティもんべつ店」の改装を実施しており、当事業年度の設備投資の総額は、826,632千円であります。2024年2月29日現在の店舗数は31店舗であります。

設備投資の推移

単位：百万円

	第52期			第53期			第54期			第55期(予想)		
	2022/2	2023/2	前期比(%)	2024/2	前期比(%)	2025/2	前期比(%)	2022/2	2023/2	前期比(%)	2024/2	前期比(%)
投資金額合計	1,139	358	31.5	826	230.6	896	108.5					
新店投資	—	—	—	—	—	636	—					
既存店 改装投資	72	314	431.6	310	98.5	142	45.8					
その他	1,066	43	4.1	516	1,181.1	118	22.9					
減価償却費	310	333	107.4	314	94.3	349	111.1					
リース償却費	78	104	132.4	126	121.4	211	167.5					

※本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

会社概要

設立 1982(昭和57)年5月10日
本社 〒006-0851
札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号
資本金 6億4180万円
代表者 代表取締役社長 桐生 宇優
従業員数 正社員 418名
パートナー 1,160名
(1人8時間換算 月平均)
2024年2月末日現在
営業品目 生鮮食料品・加工食品・菓子・衣料品・
日用雑貨・米・酒

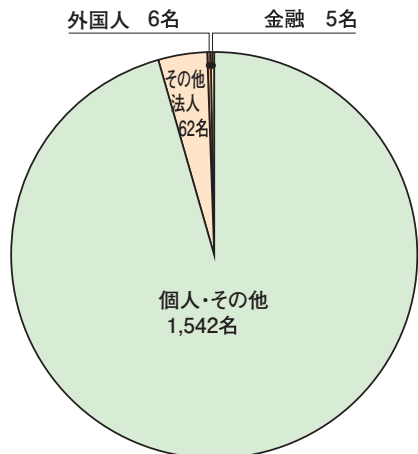
役員 (2024年5月24日現在)
代表取締役社長 桐生 宇優
取締役専務執行役員 田中 寛密 (営業本部長)
取締役常務執行役員 高橋 徹 (管理本部長)
取締役執行役員 吉田 武生 (経営企画室長)
取締役 吉田 周史 (社外取締役)
常勤監査役 黒崎 昭仁
監査役 宮脇 憲二 (社外監査役)
監査役 伊藤 光男 (社外監査役)
監査役 柴田 雅樹 (社外監査役)
執行役員 新榮 登 (営業本部 商品統括部長)
執行役員 加藤 隆通 (営業本部 販売統括部長)
執行役員 鉢呂 幸一 (管理本部 管理部長)
執行役員 山崎 誠 (管理本部 経理部長)

株式の状況(2024年2月29日現在) 東証スタンダード市場/札証(証券コード:2747)

発行済株式の総数 **1,264,640株**

期末株主総数 **1,615名**(前期比194名増)

●所有者別株主数



※個人・その他には、自己株式1名分が含まれております。

●大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
桐生興産株式会社	290,300	22.96
横山 清	70,000	5.53
株式会社北洋銀行	62,000	4.90
田中 寛密	60,100	4.75
有限会社まるせん商事	30,500	2.41
株式会社北海道銀行	30,000	2.37
ノースパシフィック株式会社	27,000	2.13
千葉 サカエ	25,800	2.04
株式会社桐生商店	22,400	1.77
グリーンスタンプ株式会社	20,000	1.58

(注)出資比率は自己株式(725株)を控除して計算しております。


株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 基準日	毎年5月下旬 2月末日 そのほか臨時に必要な場合には、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	2月末日 中間配当を行う場合は8月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 事務取扱場所 公告方法	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 当社ホームページ(https://www.hokuyu-lucky.co.jp) において、電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告 することができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主優待制度	株主優待制度として、毎年2月末日現在の100株以上ご保有の株主の皆様に対し、保有株式数に応じて以下のとおり株主優待贈呈品を年1回お届けいたします。

保有株式数	基準日	優待内容
100株以上200株未満	毎年2月末日	年1回、1,000円相当のJCBギフトカードを贈呈。
200株以上1,000株未満	毎年2月末日	年1回、5,000円相当のJCBギフトカードもしくは「北海道特産品」を贈呈。
1,000株以上	毎年2月末日	年1回、10,000円相当のJCBギフトカードもしくは「北海道特産品」を贈呈。

LUCKY

2024.2 第54期 報告書

	証券会社等で株式を 保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り 方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ： https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係 書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行まで お問い合わせ願います。	 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご 注 意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式 売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会 社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行って いただく必要があります。

本報告書で記述されている当社の現在の計画、戦略、業績予想並びに将来予測などは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しのみにも全面的に依頼することは避けていただきますようお願い致します。

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。